

市議会だより

No.213

令和元年5月10日発行

編集／発行

福井市議会だより編集委員会

福井市大手3丁目10番1号

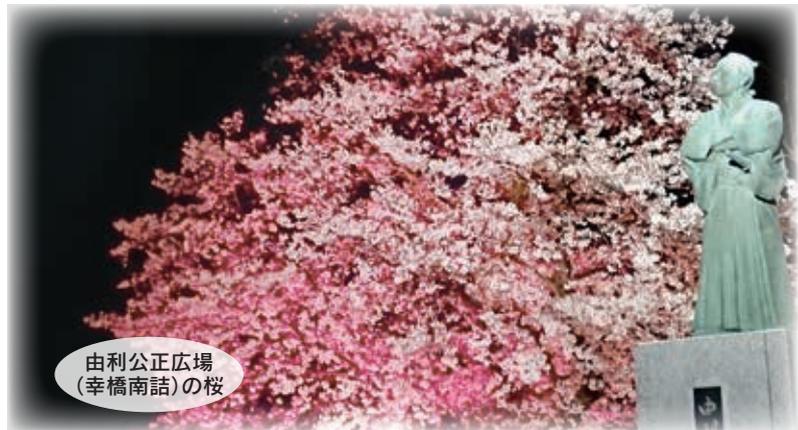
TEL.0776-20-5506



足羽神社の
しだれ桜



福井城址の桜



由利公正広場
(幸橋南詰)の桜

3月 定例会

(2月18日～3月20日)

市長提出の議案70件を審議
しました

主な議案は2ページ

審議結果は10～11ページ

請願3件、陳情2件を審議
しました

審議結果は11ページ

議員提出議案1件を審議
しました

審議結果は11ページ

議員22人が一般質問を
行いました

詳細は4～9ページ

委員会審査

3ページ

予算特別委員会

9～10ページ

主な議案

今回議決した主な議案等は次のとおりです。議案等の審議結果は、10～11ページに掲載しています。

平成31年度当初予算

本市の当初予算は、福井市財政再建計画の確実な実行を基本に、第七次福井市総合計画に掲げる将来都市像「みんなが輝く全国に誇れるふくい」の実現を目指す予算です。予算編成にあたっては、中核市に求められる責務を十分に果たし、市民サービスのさらなる向上に積極的に取り組

むとともに、連携中枢都市圏を形成し、圏域の一体的な発展を図ることとしました。さらに、4年後の北陸新幹線福井開業を見据えた取り組みを着実に進める一方、財政再建計画に掲げた具体的方策について確実に取り組むなど、「新たなステージで動き始める「ふくい」の未来を見据えた予算」として編成したものです。

(各会計予算は左記の表参照)

平成31年度 会計別予算総括表

(単位:千円)

会計区分	予算額
一般会計	105,921,000
国民健康保険	23,078,000
国民健康保険診療所	3,000
後期高齢者医療	3,670,000
介護保険	25,716,000
母子父子寡婦福祉資金貸付	6,400
競輪	14,192,000
宅地造成	1,034,000
中央卸売市場	774,000
駐車場	56,000
集落排水	817,600
地域生活排水	191,000
福井駅周辺整備	443,000
下水道事業	18,366,000
ガス事業	3,735,000
水道事業	7,460,000
簡易水道事業	582,000
合計	206,045,000

【予算のポイントとなる事業】

- ① 快適に暮らすまち
 - ・市街地再開発事業等支援事業
 - ・北陸新幹線建設整備事業
 - ・福井でかなえる快適ライフ応援プロジェクト
 - ・加茂河原ポンプ場更新事業
- ② 住みよいまち
 - ・地域の未来づくり推進事業
 - ・障がい者コミュニケーション支援事業
 - ・保健所運営事業
 - ・防災センター展示・体験施設環境整備事業
- ③ 活き活きと働くまち
 - ・農林水産物「ふくいブランド」構築事業
 - ・マーケット開発支援事業
 - ・一乗谷ブランドイメージ向上事業
- ④ 学び成長するまち
 - ・順化小学校・順化公民館複合化事業
 - ・いきいきサポーター配置事業

平成30年度補正予算

今回の補正予算は、学校トイレの洋式化を進める「学校トイレ整備事業」、プレミアム付商品券支給に係るシステム改修を行う「プレミアム付商品券事業」、地方バス路線等

の継続的な運行を支援するための「地方バス路線等運行維持事業」などに取り組むため、一般会計で15億3,253万7千円を増額するなど、補正後の予算額は全会計で2,079億4,809万5千円となります。

条例

○消費税及び地方消費税の税率引上げに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

消費税及び地方消費税の税率引上げに伴い、使用料等の額に引上げ後の消費税及び地方消費税を転嫁するとともに、所要の規定の整備を行うものです。

○福井市手話言語及び障がい者コミュニケーション条例の制定について

障がいによりコミュニケーション等に支障がある方への支援に関する基本的な事項を定めるものです。

○福井市指定障害児通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の制定について

中核市への移行に伴い、指

定障害児通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定めるものです。

○福井市学校給食費に関する条例の制定について

学校給食費の公会計化に伴い、学校給食費の取り扱いについて定めるものです。

○福井都市計画事業福井駅周辺土地区画整理事業の換地処分に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

福井都市計画事業福井駅周辺土地区画整理事業の換地処分に伴い、当該事業区内の施設の位置の表記を変更するとともに、福井市東口交通広場駐車場を廃止するものです。

人事案件

○人権擁護委員

本年6月30日をもって任期満了となる4名の委員のうち田村洋子氏、池上敏和氏を引き続き再任候補者として推薦し、他の2名の委員の後任として、麻生英右氏、坂元秀基氏を新任候補者として推薦することに意見を求められ、異議がない旨を答申しました。

委員会審査

各委員会の委員長報告から、主な質疑等の要旨を紹介します。
(日程順に掲載)

新幹線・並行在来線等 対策特別委員会

《地域の魅力の創出》

問 北陸新幹線福井開業に向けて、地域の魅力を発掘し、育て、創出することや、何を目玉にするかといったところが大事であり、これらに関する開業までのスケジュールや目標を明確に示すべきと考えるがどうか。

答 これまでも、北陸新幹線福井開業のイベント開催や、福井として何を打ち出しているかといったことを協議している。今後、計画等をつくり、具体的にどのように取り組んでいくのかを考え、議論していくことが必要になってくる。

要望 来福された方がリーダーになるような策を講ずることを検討するよう市において申し送りしてほしい。



総務委員会

《寄附金》

問 総務費寄附金が今年度予算と比較して1億円以上の増となっているが、ふるさと納税を増やすためにどのような戦略を考えているのか。

答 平成30年度のおふるさと納税は12月末現在で1億円を超えているため、31年度は1億5千万円を目標として予算化した。目標達成のため、返礼品をさらに充実するとともに、インターネットを活用した情報発信の強化に取り組む。

《地方交付税》

問 中核市移行に伴い、地方交付税が増えるとのことだが、全体としてどれくらい歳入が増えるのか。

答 歳入全体では、中核市移行で約10億6,300万円、また、中核市移行にあわせて連携中枢都市圏を形成することにより、約2億7,800万円の増を見込んでいる。

建設委員会

《市街地再開発事業》

問 駅前電車通り北地区A街区市街地再開発事業に伴う、駅前電車通りから県庁入口交差点へ抜ける道路、市道中央1-341号線の廃止は、十分に検証を行ったのか。

答 この事業は、駅前電車通り北側歩道の連続性を確保し、歩行者の回遊性の向上に、ぎわいの創出を期待するものである。事業者から提案された配置計画を見きわめ、交通関係のシミュレーションを行った上の判断であり、地域住民等に理解を求めていきたい。

《足羽山整備事業》

問 北陸新幹線福井開業を見据え、福井を訪れる人たちを足羽山へ誘導するために、継体天皇など、歴史ある足羽山の魅力を発信していく必要があるのではないか。

答 足羽山公園遊園地内の新動物舎ハピジャンは、たくさんの人に来場いただいている。アジサイの植栽等により景観や散策を楽しめる環境を整備するほか、継体天皇像がある三段広場を含め、総合的な足羽山の魅力向上に努めたい。

経済企業委員会

《福井フェニックスまつり開催事業》

問 事業費が大幅に減額されているが、どのようなことが変更になるのか。

答 花火、民謡・よさこい、マーチングというこれまでの構成は変えずに実施できるように、経費や警備体制などの見直しを行い、できる限りお客様に楽しんでいただける内容にしていきたい。

《福井市中央卸売市場特別会計予算》

問 ふくい鮮いちばのこれまでの実績と平成31年度の取り組み内容は。

答 事業開始から4周年を迎え、出店者の枠は全て埋まっているが、入場者数は年々減少しているため、平成31年度はイベント等の充実を図るほか、より多くの方に知っていただけるようPRに努めていく。

教育民生委員会

《廃棄物対策事業》

問 不法投棄監視カメラの設置数はどれくらいか。

答 連携中枢都市圏に関する事業の一環として、本市を含む11市町の市境においてごみの不法投棄が多いところに設置する事業で、1市町に1カ所、全部で11カ所に設置する。

《社北小学校大規模改修事業》

問 改修工事により、授業や学校行事等に影響は出ないのか。

答 南校舎の大規模改修工事そのものは平成32年度に行うが、普通教室のほとんどが南校舎にあることから、平成31年度中に先に北校舎を整備し普通教室の大部分を北校舎に移し、エアコンも設置する。また、一部不足する部分についてはプレハブの仮設校舎を設置するなど、授業等に極力差し支えないように努めていく。

《福井市介護保険特別会計予算》

問 介護認定を見直す場合、申請からどれくらいの日数で判定が出るのか。

答 申請後、主治医意見書の提出を依頼し、認定調査員が自宅を訪問調査する。最終的には介護認定審査会で判定が出るが、原則30日以内である。

一般質問

当面する諸問題について市の考え方を質問するため、2月25日から27日までの3日間、22人の議員が一般質問を行いました。

※ 議員名の前の番号は質問順、()内は会派名、質問内容の掲載は大項目のみです。

(敬称略)

<p>① 福野 大輔 (一真会)</p> <p>1 平成31年度当初予算について 2 投票率向上の取り組みについて</p>	<p>② 石丸 浜夫 (志政会)</p> <p>1 中核市移行について 2 連携中枢都市圏について 3 中枢中核都市について</p>	<p>③ 吉田 琴一 (市民クラブ)</p> <p>1 本市の平成31年度特別重要要望について 2 財政再建計画の進捗状況について 3 本市の学校給食費について 4 学校プール開放事業について</p>
<p>④ 下畑 健二 (公明党)</p> <p>1 歳入確保と歳出削減策について 2 福井市人口ビジョン・総合戦略について 3 プレミアム付商品券事業について</p>	<p>⑤ 田中 義乃 (一真会)</p> <p>1 市長の3期目の評価について 2 持続可能な自治体運営について</p>	<p>⑥ 伊藤 洋一 (志政会)</p> <p>1 河川・水路の整備について 2 道路の整備について 3 下水道事業について 4 防災・減災対策について</p>
<p>⑦ 片矢 修一 (市民クラブ)</p> <p>1 平成30年度3月補正予算案について 2 平成31年度当初予算案について 3 サウンディング型市場調査の結果について 4 本市の職員採用計画について</p>	<p>⑧ 西村 公子 (日本共産党議員団)</p> <p>1 福井市財政再建計画と市民生活への影響について 2 障がい者の生活を守る取り組みについて 3 人口減少社会への対応について</p>	<p>⑨ 今村 辰和 (一真会)</p> <p>1 福井市観光振興計画改訂事業について 2 公共施設の今後の利活用について 3 財政再建計画と新年度当初予算編成について 4 自治会の存続と地域のまちづくりについて 5 道路除雪の状況について</p>
<p>⑩ 鈴木 正樹 (日本共産党議員団)</p> <p>1 2019年度予算編成と市民生活の実態について 2 消費税の増税と毎月勤労統計調査の不正について 3 小・中学校の統廃合について 4 市営住宅の削減計画について</p>	<p>⑪ 野嶋 祐記 (志政会)</p> <p>1 中核市としての本市のビジョンと今後について 2 中心市街地・市街化区域・市街化調整区域でのまちづくりについて</p>	<p>⑫ 奥島 光晴 (一真会)</p> <p>1 2019年度当初予算案について 2 雨水対策事業について</p>
<p>⑬ 水島 秀晃 (志政会)</p> <p>1 平成31年度当初予算について</p>	<p>⑭ 堀川 秀樹 (市民クラブ)</p> <p>1 福井市東山健康運動公園を運動型健康増進施設として認定し医療費控除の対象とすることについて 2 越前水仙の里温泉波の華と福井市の移住促進策のマッチングについて 3 運転免許返納者を対象にスクールバスを無料で利用できることとしたA O Iドライビングスクールと福井市との連携について 4 2020年東京オリンピック・パラリンピック代表チームの事前キャンプ誘致について 5 助けを求める子どもたちのセーフティネットであるふくいチャイルドラインの現状とその対策について</p>	<p>⑮ 加藤 貞信 (志政会)</p> <p>1 福井市北部地域(森田・河合地区)のまちづくりについて</p>
<p>⑯ 泉 和弥 (一真会)</p> <p>1 平成31年度当初予算案について 2 鳥獣害対策について</p>	<p>⑰ 瀧波 滋 (志政会)</p> <p>1 本市のまちづくり、橋南地区の課題について</p>	<p>⑱ 近藤 實 (無所属(青空の会))</p> <p>1 北陸新幹線福井開業への準備(賑わい、誘客)について 2 平成31年度一般会計予算について 3 水道事業会計の利益について 4 下水道事業の資本費平準化債と利益について 5 中核市定員モデルの妥当性について 6 福井市土地開発公社について 7 市役所の改革・変革・チェンジについて 8 結婚教育について</p>
<p>⑲ 島川 由美子 (公明党)</p> <p>1 風しん予防接種事業について 2 高齢者肺炎球菌ワクチン定期予防接種の延長について 3 食品ロス削減対策について</p>	<p>⑳ 皆川 信正 (一真会)</p> <p>1 財政再建と市施設活用について 2 福井市文化会館について 3 聴覚障害者の防災対策について 4 防犯カメラ整備促進について 5 公共交通に関する意識調査について 6 カラス被害対策について</p>	<p>㉑ 八田 一以 (一真会)</p> <p>1 下水道事業について</p>
<p>㉒ 藤田 諭 (志政会)</p> <p>1 障がい者を取り巻く環境について 2 ふくいのまちづくりについて</p>		

一般質問要旨



ふくの だいすけ
福野 大輔 議員
一真会

統一地方選挙後の県と本市の関係について

質問

本市が目指す将来都市像「みんなが輝く 全国に誇れる ふくい」を実現するためには、本市のみならず県との連携も非常に重要であると考えます。東村市長は、今春の統一地方選挙後の県と本市はどのような関係であるべきと考えますか。また、知事に対して何を望むか。

回答

北陸新幹線福井開業を契機とした誘客の拡大や、並行在来線をはじめとする地域交通の利活用など、県と市町が連携を一層密にして物事を進めていくことが、住民サービスや住民福祉の向上につながるものと考えます。

そういった意味でも、県と市町が対等な立場で十分なコミュニケーションが図られる関係があるべき姿であり、そのような関係の構築を知事に対して望みます。



いしまる はまお
石丸 浜夫 議員
志政会

中枢中核都市について

質問

本市が中枢中核都市に選定されることは、国による東京一極集中の是正でしかなく、本市自らが意欲的に取り組む連携中枢都市圏の形成とは異なり、本市にとつてのメリットがいま一つ見えない。具体的にどのようなメリットがあるのか。

回答

国からは2点のメリットが示されている。

まず、ハンズオン支援は、中枢中核都市が共通に抱える課題に対して、国の支援を希望し採択された場合には、省庁横断チームから、相談のワンストップ対応や支援施策の紹介等が行われるものである。

また、これまで全市町村で一律であった地方創生推進交付金の交付上限額及び申請上限件数が見直され、中枢中核都市については、それぞれの上限が引き上げられている。



よしだ きんいち
吉田 琴一 議員
市民クラブ

学校プール開放事業について

質問

学校プール開放事業については、平成29年度が赤字決算となったことから、平成30年度は地域の方々の協力をいただき、ボランティア体制のもとで取り組まれました。

その成果を踏まえ、平成31年度も継続して取り組んでほしいと要望したが、その検討結果は。

回答

全小学校のPTAに行ったアンケート調査の結果を基に、平成31年度のプール開放事業の方法について、PTA連合会と協議を行っている。

事業費については、平成30年度と同程度の予算を計上している。まずは、児童の安全が確保されること、そして全小学校のプールを開放することを前提に、PTAのご意見なども踏まえながら、事業実施に取り組んでいく。



しもばた けんじ
下畑 健二 議員
公明党

福井市人口ビジョン・総合戦略について

質問

東村市長は就任12年目を迎え、3期目最後の年となる。人口ビジョン・総合戦略も平成31年度は計画の最終年度となるが、市長は特にこの基本目標を課題と感じ、この1年重点的に取り組むのか。

回答

全国的に東京一極集中の流れに歯止めがかからない現状を踏まえると、特に東京圏など県外への転出超過の改善を進めていくことが課題になると考える。平成31年度は、引き続き、計画に定める数値目標やKPIの達成に向けて全力を尽くす。とりわけ転入・転出者数の均衡に向けて、暮らしやすさなど本市の魅力を発信し、若者の地元定着を図るとともに、東京圏からの移住就職者に対する支援制度を新たに設けるなど、重点的な取り組みを進めていく。



たなか よしのり
田中 義乃 議員
一真会

企業誘致について

質問

福井市に進出したい企業はあるが、生産拠点をつくる用地がなく、規制が厳しいと聞く。積極的な規制緩和を阻んでいるのは何か。

回答

本市では、市街化区域内で大規模な用地が確保できないことから、厳しい土地利用の規制がある地域での立地を検討せざるを得ない状況である。

これまで福井市開発審査会附議基準の見直しや、地域未来投資促進法に基づく土地利用調整の特例措置を活用できる重点促進区域の設定などを進めてきたが、産業用地として利用するには農業上の利用との調整を必要とするなど、依然として厳しい状況にある。

今後関係部局と連携しながら、企業立地の実現に向けて取り組みを進めていく。



いとう よういち
伊藤 洋一 議員
志政会

河川・水路の整備、下水道事業、防災・減災対策について

質問

現在、本市が冠水対策を進めなければならない河川・水路はどれくらいあり、今後どのように整備を進めるのか。

加茂河原ポンプ場の次に全面更新するポンプ場とその実施時期は。

また、54カ所の防災拠点以外に220カ所の指定避難所にも支援物資が供給されるが、市民への周知方法は。

回答

平成29年度末現在、市の管理する河川の整備率は56.3%であり、今後整備率の向上に努めることも、国や県に河川改修の促進を引き続き強く要望していく。

加茂河原ポンプ場の整備完了後は、老朽化が進む足羽ポンプ場の更新事業に速やかに着手したい。

また、指定避難所については、出前講座など様々な機会を捉えて周知を図っていく。



かたや しゅういち
片矢 修一 議員
市民クラブ

市街地再開発事業等支援事業について

質問

財政再建計画の期間中に、民間主導型の再開発に約27億円もの投資は大きすぎるのではないか。その内訳と平成31年度以降の支出額は。また、将来とれだけの効果が見込まれるのか。この再開発は必ず成功させ、市民の納得のいく投資となるよう強く要望する。

回答

事業費の内訳は、中央1丁目10番地地区に9千万円、駅前電車通り北地区A街区に25億6,500万円、B街区に5,100万円、駅前南通り地区に400万円である。平成31年度以降の支出額は、中央1丁目10番地地区は平成32年度までに約1億5,100万円、駅前電車通り北地区は平成34年度までに約34億円、駅前南通り地区は未定である。

将来見込まれる効果については、市街地再開発事業の事業計画作成後に計画の内容とあわせて目標を設定する。



にしむら きみこ
西村 公子 議員
日本共産党議員団

保育園の途中入所ができるよう保育園施設と職員を増やすよう要求

質問

平成29年度、保育園の途中入所ができない事例が7人あったとのことだが、4月の入園もなかなか希望の園に入れない状況と聞いている。人口減少社会への対応策として、公立園施設と職員を増やして抜本的な対応をするべきではないか。

回答

一人でも多くの方が途中入園の希望をかなえられるよう、定員の弾力化を含め、低年齢児の受入枠確保の取り組みをさらに加速させる必要があると考えている。

そのため平成31年度には、保護者を対象に実施したニーズ調査の結果や各地区の就学前児童の将来人口推計を踏まえ、公立・私立園の整備方針も含めた「第二期子ども・子育て支援事業計画」を策定する予定である。



いむら しんかず
今村 辰和 議員
一真会

自治会の存続と地域のまちづくりについて

質問

自治会は、身近な地域においてご近所同士で助け合いながら、防犯や防災、環境美化などに取り組んでいるが、今後、住民の減少や高齢化がさらに進み、自治会の解散が連鎖しないよう、市ではどのように対応していくのか。

回答

中山間地域の小規模集落を対象に、集落機能を維持することを目的とした特定集落支援員を新たに配置し、清掃や草刈りなどの自治会活動への参加や、地区役員への就任などによる自治会運営のサポートを行っていく。

また今後、各種委員等の配置基準や業務量などについて見直しを進め、自治会の負担を少しでも軽減できるよう取り組んでいく。



すずき しょうじゅ
鈴木 正樹 議員
日本共産党議員団

市営住宅削減計画と住民の不安について

質問

市は平屋建てや2階建ての市営住宅の居住者に対して10年以内の転居や退去の意向を調査するアンケートを行った。市営住宅の廃止に当たっては、住民からの相談に丁寧に応じることや合意が必要であり、強制的に追い出してはならないと考えるがどうか。

回答

耐用年数を経過し老朽化した市営住宅については、安全性や居住性を確保できないことから、用途廃止することとしている。今回のアンケートは、10年以内に住み替えや取り壊しが必要になることを周知するとともに、希望する移転先や住み替えが可能な時期などの調査を目的に行った。

今後も入居者の理解が得られるよう説明、相談に努めるとともに、頂いたご意見に真摯に向き合っていく。



のじま ゆうき
野嶋 祐記 議員
志政会

中核市としての本市のビジョンと今後について

質問

中核市として本市が目指すビジョンについて、県都福井市として果たす役割も含めてどのように考えているのか。

また、ビジョン実現に向けた今後のスキームは。

回答

中核市移行により本市の事務権限の拡大や行政機能の強化を図り、第七次福井市総合計画に掲げる将来都市像「みんなが輝く 全国に誇れる ふくい」をはじめ、各種行政計画に掲げる将来ビジョンの達成につなげていく。

また、中核市として周辺の市町を牽引し、連携中枢都市圏を形成するなど、総合力を発揮する取り組みを進め、広域的な発展にもつなげていく。今後ますます多様化する行政ニーズに対応し、福井ならではの強みや個性を発揮した魅力あるまちづくりを目指すことが重要と考えている。



おくしま みつはる
奥島 光晴 議員
一真会

駅前電車通り北地区A街区市街地再開発事業

質問

駅前電車通り北地区A街区の支援に、25億6,500万円の予算を計上している。県都の玄関口として、新幹線開業を万全の態勢で迎えるための重要な事業と認識しており、「三方良し」のフオリティの高い再開発を望むことから、旧ミスタードーナツ福井駅前店前の市道の廃止には、地域の方々はもちろん、市民の合意が必要と考えるがどうか。

回答

準備組合が実施した交通解析の内容について協議を重ね、本市は国交省のマニユアル等に基づき検証し、市道廃止による影響が少なうことを確認した。組合及び本市は住民説明会や自治会との意見交換を行っているが、考え方に地域の方と差があり、十分な説明が必要と考えている。今後も丁寧な説明等を行い、理解が得られるよう努めていく。



みずしま ひであき
水島 秀晃 議員
志政会

森林環境譲与税関連事業について

質問

森林を守っていくことは川を守り、海を守り、ひいては農業を守り、町を守る一大事業である。そして、それは子どもたちの未来を守っていくことに繋がる。平成31年度の森林環境譲与税関連事業の各助成制度の内容は。

回答

林業従事者の労働安全に資する装備や機械・器具の整備に対し支援する「林業労働安全衛生推進事業」、質の高い担い手育成のため、高度な技術や資格の取得費用を助成する「林業技術研修資格取得促進事業」、国の補助対象とならない細い作業道整備等に対し助成する「ふくい型作業道整備事業」、地域住民が共同で行う林道の維持管理活動に対し助成する「林道維持地域活動支援事業」などの助成制度がある。なお、これらの事業は、森林組合、自伐林家などと協議の上、新設したものである。



ほりかわ ひでき
堀川 秀樹 議員
市民クラブ

助けを求める子どもたちのセーフティネットであるふくいチャイルドラインの現状と対策について

質問

ふくいチャイルドラインの相談員不足が深刻である中、ヤングテレホンを運営する少年愛護センターと連携し、ふくいチャイルドラインの受け手を担う最寄り団体となるべきと考えるがどうか。

回答

民間団体との連携はハードルが高いと組織の都合を優先するのではなく、声が届かない子どもの実態改善を優先すべきではないか。

ふくいチャイルドラインでは電話相談のボランティアが足りず、電話に出られないこともあるとの報道は把握している。県子どもNPOセンターの活動内容をしっかりと把握し、市としてできることがないか、NPOと相談していく。



かとう さだのぶ
加藤 貞信 議員
志政会

福井市北部地域（森田・河合地区）のまちづくりについて

質問

児童数増加が続き、県内一の児童数となっている森田小学校に対する教育委員会の考えと今後の対応は。

また、森田・河合地区の救急業務の今後の考え方と新分署建設事業の進捗状況は。

回答

森田小学校の児童数増加に伴う教室不足には、当面は仮設校舎増築で対応する。「現在の森田中学校を森田第二小学校（仮称）とし、新たに森田中学校を建設する」という地元からの提案については、学校規模適正化検討委員会での答申結果を踏まえた上で、市長を交えた総合教育会議等で協議していく。救急業務については、今後も森田地区の人口増加が見込まれることから、適切な救急業務の確保に努める。新分署建設事業は用地確保と基本設計が終了しており、平成33年4月からの運用開始を目指す。



いずみ かずや
泉 和弥 議員
一真会

市街地再開発等支援事業について

質問

市街地再開発等支援事業は、市債発行額、一般財源ともに高額で、投資的経費が87億4,103万円と、平成30年度より1割ほど増加した要因でもある。市民生活に直接かわる事業費を減額してでも支援することで、まちなかの賑わいは創出できるのか。

回答

多くの建物が更新時期を迎えており、民間開発等の建て替えに合わせた市街地環境の再整備や改善など、民間と行政が連携したまちづくりを推進していくことが重要である。

北陸新幹線福井開業や大阪万博開催を見据え、活発になっていく民間主導のまちづくりの動きを支援すること、都市機能を充実させ、市民が楽しめるように、まちを訪れる人が心躍るような賑わいあふれるまちづくりを進めていく。



たきなみ しげる
瀧波 滋 議員
志政会

本市のまちづくり、橋南地区の課題について

質問

本市の中心市街地には、足羽川、足羽三山など豊かな自然があふれている。また、かつては本市の南北を旧北国街道が通り、多くの人が行き交う城下町として栄えてきた。

今もお堀が残っており、歴史を活かしたまちづくりの取り組みが必要と考えるが見解は。

回答

県と作成した県都デザイン戦略では、2050年を目標年次として県や市庁舎を移転、再配置することにより、歴史を象徴し、人が集まる「福井城址公園」を整備することとしている。

これまで御廊下橋や山里口御門を復元し、中央公園を再整備するなど、歴史資源を活かした整備を行ってきた。今後、長期的目標の中で示されている御門、櫓、天守閣等の復元などについて、県とともに検討していく。



こんどう みのる
近藤 寛 議員
無所属（青空の会）

市役所の改革・変革・チェンジについて

質問

市職員は前例に縛られている。もっと自由な発想で改革・変革を進め、課長、副課長は改革・変革の旗手となるべきと考える。

年功序列ではなく、能力主義で若い人を抜擢するほか、部長の3割を女性とし、また、副市長にも女性を一人登用すべきと考えるが見解は。

回答

管理職には、専門的知識や経験、指導・統率力、マネジメント能力を備えていることが重要であり、年功序列にとらわれず、業績等を評価し、適任者を選任している。

また、行政運営には女性の視点や感性は重要であり、女性職員の昇任意欲が高まるよう意識啓発を行い、積極的に管理職に登用していく。副市長の登用には、性別に関わらず、職にふさわしい資質を備えた方の選任が重要と考える。



しまかわ ゆみこ
島川 由美子 議員
公明党

風しん予防接種事業について

質問

妊娠20週ぐらいまでの妊婦が風しんに感染すると、生まれてきた赤ちゃんが難聴や白内障、心臓病などの先天性風しん症候群(CRS)にかかり、障がいが残ったり、死亡するケースがある。風しん抗体保有率が低い39、56歳男性が、抗体検査や予防接種を漏れなく受けられるよう、周知広報や環境整備にどう取り組むのか。

回答

対象者にはクーポン券を送付し周知するほか、広報やホームページ等で啓発を行う。事業者等には、国が作成するポスターやリーフレットを活用し、県と協力して理解や協力を促していく。

また、対象者が働き盛りの男性であるため、市医師会を通じて、休日や夜間に抗体検査やワクチン接種ができる受け入れ体制が整うよう、協力をお願いしていきたい。



みながわ のぶまさ
皆川 信正 議員
一真会

財政再建と市施設活用について

質問

財政再建により研修センターを民間移譲すると、福井職業訓練協会が運営している建築板金、管工事、ブロック、瓦、左官、家具、屋根、造園等の高度な技術研修、技術伝承の場がなくなる。必ず残すべきと考えるが市の見解は。

回答

研修センターは、本来の目的である勤労者の利用が少なくなっており、借地料や維持管理費が高額で、また、老朽化に伴う今後の施設改修にも多額の経費が見込まれるため、財政再建計画で廃止に向けて検討することとした。

今後は、サウンディング型市場調査による民間事業者からの意見を勘案するとともに、施設規模の適正や代替施設への移転等も踏まえ、施設マネジメントアクションプランの中で検討していく。

下水道事業について



はった いちい
八田 一以 議員
一真会

質問

東藤島地区における公共下水道の整備については、既に4年遅れている。平成36年度末までには東藤島地区全域において供用開始するよう是非ともお願いしたい。平成35年度に工事開始予定の北野上町、玄正島町については特に留意願いたい。

回答

東藤島地区をはじめ、平成26年度の福井市公共下水道事業計画の変更により計画区域に編入した地区を中心に、管路の整備を進めている。北野上町、玄正島町は平成36年度中に工事完了予定である。

国の補助制度変更により、工事完了の目標を平成36年度末に延長した際、幹線管路は平成32年度末を目途に整備を終えることとした。住宅の新築等であらかじめ申し出があれば、できる限り柔軟に対応していく。

障がい者を取り巻く環境について



ふじた さとし
藤田 諭 議員
志政会

質問

「福井市手話言語及び障がい者コミュニケーション条例」を通して、手話が言語であることの理解促進及び多様なコミュニケーション手段の円滑な利用促進のため、手話の普及に向けてどのような取り組みを行うのか。

回答

平成29年度から実施している手話ミニ講座を市民、職員向けに加え商業施設等の事業者を対象に開催する。また、手話奉仕員養成研修は受講料を無料とし、開催日を平日から土曜日に変更するなど、より受講しやすい環境を整え、今後も充実を図る。

さらに、多くの市民に手話に親しんでもらうため、ケーブルテレビで手話に関するワンポイント講座を送るなど、普及啓発に努めていく。

予算特別委員会

各会派における
主な質疑内容を
紹介します。

一真会

- 見谷 喜代三 堀江 廣海
- 八田 一以 池上 優徳
- 福野 大輔

志政会

- 伊藤 洋一 藤田 諭
- 後藤 裕幸 水島 秀晃

中核市移行

地域間競争に打ち勝つ、活力ある地域をつくる取り組みとして、ふるさとへの愛着と誇りを育む教育の推進が必要とあるが、ここでの地域やふるさととは福井市、連携中核都市圏もしくは福井県を対象とするのか。

質問

国は学校での指導について方針を示すことを検討しており、本市も全校集会等の機会を捉え、校長や学級担任から法律の趣旨等を踏まえて話をするなど、その方針に沿った対応をしたい。

回答

地域やふるさととは福井市を対象としており、将来にわたって持続的な発展を遂げるため、本市ならではの強みと個性を発揮した独自の施策を展開し、本市のさらなる飛躍につなげたい。また、ふるさと教育については、移譲される教職員研修事務が市内の小・中学校の教職員を対象にしていることから、まずは市内の子どもたちを対象に本市への愛着と誇りを育むふるさと教育を充実させたい。

学校給食

平成31年度の当初予算において、単独調理校給食調理等業務委託事業として1億2,637万3,000円が計

市民クラブ

- 吉田 琴一 片矢 修一
- 村田 耕一

上されているが、給食調理業務の民間委託の今後の方針は。

質問

給食調理業務の委託に当たっては、安全・安心な給食の供給体制を最優先に考えており、これまで、県の栄養教諭・学校栄養職員が配置されている学校を候補とし、中でも規模が大きい学校や近隣の学校と一体で委託できる学校を選定してきた。今後も、安定した給食提供ができるよう委託する学校を増やしていく必要があると考えている。

公明党

- 下畑 健一 島川 由美子

児童虐待防止対策

子どもを守るための地域のネットワークの強化が必要と考えるが、本市の今後の取り組みは。

質問

民生委員・児童委員や主任児童委員が子どもの見守りを行い、保育園や学校などと連携を図っている。また、福井市あんしん見守りネットワークや要保護児童対策地域協議会を通して地域団体や関係機関との連携を図っているほか、保育園や小・中学校、児童館などを対象に児童虐待防止に関する出張講座を開催

回答

児童虐待防止に関する出張講座を開催

している。今後はより多くの市民に虐待への関心を持っていただき、地域全体で子どもを見守ることの大切さを知っていただくことで、地域のネットワークの強化につなげていきたい。

意見 私たちが当たり前のことと考えている「子どもが家で家族と安全で安心して生活ができること」ができない家庭がある。社会全体で見守りに力を入れて子どもたちをしっかりと育てていかなければならない。

日本共産党議員団

西村 公子

○2019年度予算編成

問 響のホールは音楽や文化関係の方から大変好評であり、施設の存続を希望する声も多くあるが、今後の方向性をどのように考えているのか。

答 まちづくり福井株式会社
が響のホール検討委員会を設置し、これまで7回の協議を重ねてきている。今後も引き続き協議し、再開発事業に係る施設のあり方についての方向性が出されるものと考えている。

議案等の審議結果

(3月定例会)

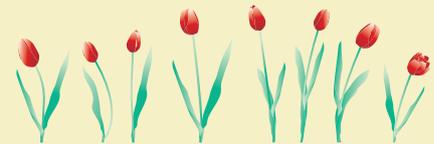
議案番号	件名	審議結果		賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は11頁に掲載)
第1号議案	平成31年度福井市一般会計予算	3月20日	原案可決	●
第2号議案	平成31年度福井市国民健康保険特別会計予算	〃	〃	●
第3号議案	平成31年度福井市国民健康保険診療所特別会計予算	〃	〃	●
第4号議案	平成31年度福井市後期高齢者医療特別会計予算	〃	〃	●
第5号議案	平成31年度福井市介護保険特別会計予算	〃	〃	●
第6号議案	平成31年度福井市母子父子寡婦福祉資金貸付特別会計予算	〃	〃	●
第7号議案	平成31年度福井市競輪特別会計予算	〃	〃	●
第8号議案	平成31年度福井市宅地造成特別会計予算	〃	〃	●
第9号議案	平成31年度福井市中央卸売市場特別会計予算	〃	〃	●
第10号議案	平成31年度福井市駐車場特別会計予算	〃	〃	●
第11号議案	平成31年度福井市集落排水特別会計予算	〃	〃	●
第12号議案	平成31年度福井市地域生活排水特別会計予算	〃	〃	●
第13号議案	平成31年度福井市福井駅周辺整備特別会計予算	〃	〃	●
第14号議案	平成31年度福井市下水道事業会計予算	〃	〃	●
第15号議案	平成31年度福井市ガス事業会計予算	〃	〃	●
第16号議案	平成31年度福井市水道事業会計予算	〃	〃	●
第17号議案	平成31年度福井市簡易水道事業会計予算	〃	〃	●
第18号議案	消費税及び地方消費税の税率引上げに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	〃	〃	●
第19号議案	福井市手話言語及び障がい者コミュニケーション条例の制定について	〃	〃	●
第20号議案	福井市指定障害児通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の制定について	〃	〃	●
第21号議案	福井市学校給食費に関する条例の制定について	〃	〃	●
第22号議案	福井市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	〃	〃	●
第23号議案	福井市職員の給与に関する条例及び福井市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の一部改正について	〃	〃	●
第24号議案	福井市総合支所設置条例の一部改正について	〃	〃	●
第25号議案	福井市地域交流プラザの設置及び管理に関する条例の一部改正について	〃	〃	●
第26号議案	福井市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備、運営等に関する基準を定める条例の一部改正について	〃	〃	●
第27号議案	福井市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備、運営等及び指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	〃	〃	●
第28号議案	福井市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正について	〃	〃	●
第29号議案	福井市介護医療院の人員、施設及び設備並びに運営に関する基準を定める条例の一部改正について	〃	〃	●
第30号議案	福井市母子家庭等の医療費等の助成に関する条例の一部改正について	〃	〃	●
第31号議案	福井市認定こども園設置条例の一部改正について	〃	〃	●
第32号議案	福井市特別会計条例等の一部改正について	〃	〃	●
第33号議案	福井市保健所事務手数料条例の一部改正について	〃	〃	●
第34号議案	福井市土地改良事業等分担金賦課徴収条例の一部改正について	〃	〃	●
第35号議案	福井市手数料徴収条例及び福井市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正について	〃	〃	●
第36号議案	福井市公営企業の設置等に関する条例の一部改正について	〃	〃	●
第37号議案	福井市水道給水条例の一部改正について	〃	〃	●
第38号議案	福井市水道料金制度審議会設置条例の一部改正について	〃	〃	●
第39号議案	福井市水道の布設工事の監督及び水道技術管理者に関する条例の一部改正について	〃	〃	●
第40号議案	福井市公民館設置に関する条例の一部改正について	〃	〃	●
第41号議案	財産の処分について(ガス事業に係る財産)	〃	〃	●
第42号議案	包括外部監査契約の締結について	〃	〃	●
第43号議案	福井市及び大野市における連携中枢都市圏の形成に係る連携協約の締結について	〃	〃	●
第44号議案	福井市及び勝山市における連携中枢都市圏の形成に係る連携協約の締結について	〃	〃	●
第45号議案	福井市及び鯖江市における連携中枢都市圏の形成に係る連携協約の締結について	〃	〃	●
第46号議案	福井市及びあわら市における連携中枢都市圏の形成に係る連携協約の締結について	〃	〃	●

議会日誌 (平成31年1~3月)

1月18日	議会運営委員会
24日	全国競輪主催地議会議長会正副会長・監事・相談役会議、役員会 (栃木県宇都宮市)
2月1日	福井県市議会議長会定期総会 (あわら市)
5日	新幹線・並行在来線等対策特別委員会
7日	全国広域連携市議会協議会正副会長・監事・相談役会議、第70回理事会、第50回総会 (東京都)
12日	議員全員協議会、議会運営委員会
14日	全国市議会議長会第214回理事会、第106回評議員会 (東京都) 北信越市議会議長会理事会 (東京都)
20日	福井県市町振興協会理事会 福井県自治会館組合議会定例会 定例福井県市町総合事務組合議会
3月26日	福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会全員協議会、第174回定例会 (あわら市) 北信越市議会議長会監事会 (富山市)
28日	福井県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会、定例会

3月定例会

2月18日	本会議
19日	議会運営委員会
25日	本会議 (一般質問)
26日	本会議 (一般質問)
27日	本会議 (一般質問)
28日	総務委員会、建設委員会
3月4日	教育民生委員会、 経済企業委員会
5日	教育民生委員会
14日	予算特別委員会
15日	予算特別委員会
18日	議会運営委員会
20日	議員全員協議会、本会議



編集後記

平成31年度当初予算が成立しました。本市は昨年の大雪の影響で、今後5年間、財政再建期間になります。3月定例会でも多くの議員から、市民生活への影響や各事業の今後の見通しなどについて様々な質問があり、活発な議論が行われました。

新たに中核市となった福井市が、県都にふさわしい都市としてさらに飛躍していくために、これからも市民の皆様の信頼にこたえられる議会でありたいと思います。

(鈴木・菅生)

請願・陳情等の提出について

請願・陳情などは、基本的にいつでも提出できますが、年4回(3・6・9・12月)開催される定例会で審議されますので、提出時期等詳細については事前に議会事務局へお問い合わせください。

中継する会議

インターネット
中継を実施
しています

- ・本会議
- ・各常任委員会
- ・各特別委員会



福井市議会では、より多くの皆さまに議会活動をご理解いただくため、

YouTube (ユーチューブ) の
インターネットストリーミングサービス

を利用した録画放送の配信を行っています。

傍聴に來られない人も、会議の映像をご覧になれます。

※インターネット中継は、福井市議会ホームページからご覧いただけます。
なお、この中継は、福井市議会の公式記録ではありません。

傍聴してみませんか

傍聴できる会議

なお、本会議、予算特別委員会の模様は、ケーブルテレビのふくチャンネル121chで生中継及び録画放送されます。

本会議	定員97人 うち車イス6席
常任委員会	総務、建設、教育民生、経済企業
議会運営委員会	
特別委員会	予算
議員全員協議会	

※議場は席によって温度差があるため、傍聴の際には温度調整ができるような服装でお越しいただくことをおすすめします。



議会事務局 庶務課

0776-20-5506

次回は
6月定例会
です

日程は
ホームページに
掲載します